

生駒市文化財保護審議会会議録 要点筆記

- 1 開催日時 平成22年5月14日（金）午後3時～4時30分
- 2 開催場所 中央公民館別館 市民ホール
- 3 出席者 （委員） 今木会長、藤澤副会長、谷山委員、中谷委員、吉川委員
（事務局）長田生涯学習部長、西野生涯学習課長、今野生涯学習課長補佐、錦文化振興係長、西山文化振興係員

4 会議の公開・非公開

公開 傍聴人 なし

5 議題

- (1) 会長あいさつ
- (2) 平成21年度事業報告・平成22年度事業計画案について
- (3) その他

6 審議内容

- (1) 会長あいさつ
- (2) 平成21年度事業報告・平成22年度事業計画案について

説明内容

◎平成21年度の事業報告について

- ・各分野調査（古文書調査6箇所、民俗調査、民具収集、埋蔵文化財調査、）について
小平尾町個人文書、南田原町の岩蔵寺文書、喜里池水利組合文書、自治会文書、俵口町の農家組合文書、壱分町の往馬大社文書等約1,500点余り。民俗調査は辻町地藏盆、長弓寺大般若経等、鬼取町の数珠くりなどの諸行事、市内各所の行事。民具収集は、最近俵口町の個人住宅で収集するなど、問い合わせのあった物を随時収集。埋蔵文化財発掘の届出及び通知が昨年度53件。発掘調査3件、立会調査41件、慎重工事9件。主な成果は、小平尾東遺跡第4次 中世の素堀溝検出・広道遺跡第4次。竹林寺古墳測量調査（20・21年度）
- ・旧生駒町役場庁舎の登録文化財建造物の登録の答申（3月19日）について
以下建物の説明
昭和8年（1933年）築の棧瓦葺き一部鉄板葺き、正面24mのコの字形平面とする木造平屋建の背面に土蔵等を付属、外装下見板張で肘木や妻飾等に伝統的な意匠をあしらい正面中央及び左右に入母屋破風を見せる堂々とした構え。和風官庁建築の好例との評価を受ける。昭和8年～33年まで生駒町役場（議会棟、町政執務棟等）として使用。
天井は折り上げ格天井で木瓜文風文様の意匠入り、設計者は小瀬村出身の大工、中川吉次郎で寺社建築の保存修理に携わった経験と知識を生かし独特のデザイン構成を創り出している点が注目される。登録有形文化財は原則建築後50年を経過しその中でいろんな基準で登録される。この建物は(2)造型の規範に該当している。県内では、宇陀市松山地区福祉会館、黒滝村旧役場庁舎、奈良市の都村役場、旧河合村役場等が残っている。
- ・資料館新設検討事業 7～10月中央公民館別館耐震診断業務の完了。
中地震度に対し損傷は生じないが、大地震度マグネチュード7以上は大きな変形が生じ崩壊の可能性があるという結果をふまえ、22年度以降資料館として耐震補強を行い開設に向け

て仕事を進めていく。

- ・文化財活用普及事業は、生駒山北方窯跡出土遺物の再整理作業。8月18日～23日まで「ワクワクドキ土器！？発掘調査成果展」で出土遺物約200点展示・勾玉作りや発掘模擬体験学習。生駒歴史文化セミナーの開催11月15日（日）「宝山寺出張所主査金子隆之氏による解説重要文化財宝山寺獅子閣の保存修理～明治時代の建築素材～」を40名が聴講。教職員夏季研修7・8月の2回。昨年度同様のデジタルミュージアムの更新と高山城跡遊歩道管理業務を実施。ハンドブック「生駒の歴史と文化」は好評をいただいている。
- ・指定文化財保存事業・補助金の交付は、昨年同様国宝及び重要文化財の建造物の防災管理及び小修理・宝山寺市獅子閣の保存修理事業、宝山寺獅子閣派今年6月末に竣工予定でその後一般公開予定。市指定については例年通り、高山八幡宮宮座行事と往馬大社の火取り行事等の補助。

◎平成22年度事業計画案について

・郷土資料館の新設検討事業の中で資料館新設準備検討懇話会（以下「懇話会」）を設置。今月中に新設準備検討懇話会要綱設置、資料館開設に向け諸項目について検討予定。委員構成は、学識経験者3名、学校教育部門3名、教授2名、実践団体の郷土学習3名、民間活力生駒商工会議所の協力で市企業・事業所2名、公募市民1名の計10名程度。公募市民については6月1日号の広報・ホームページで募集し選定する予定。会議開始は、22年の今年度と来年度の2ヵ年間で審議する。今年度は5～6回会議を開催し、資料館の機能＝コンセプトやニーズをどのように果たすか、建物の活用・展示・収集・調査研究・情報提供・市民参加等についての方針及び資金・マンパワー等の確保と指定管理方式なども視野に入れ、みんなで作る施設に向けてご審議のうえご提言をいただく。

郷土資料館の基本設計は秋から年度末にかけて実施予定。建物の外観、独自の意匠構成等を損なわず、文化庁や県教委の指導を受け、懇話会の意見も反映しながら進めていきたい。

- ・埋蔵文化財保存活用事業は、引き続き俵口町の生駒北方窯跡の残整理、現在進行中の作業を完了し目録を作成。出土遺物展示は、今年は8月20日～22日美楽来で開催。勾玉作り、発掘体験等の子供向けの講座もする予定。
- ・今年度は古文書調査の報告書を作成する予定。

今木会長 発掘調査の成果展では、昨年5日間で今年3日間とは短くないか。

事務局 諸事情のため3日間です。昨年は準備を含めて4日間でした。

藤澤副会長 基本設計が秋から始まるならそれまで検討はだいたい済んでいるのか。スペースをどう使うかというのが基本設計であるから。

事務局 設計の仕様をくくる際の前段階のものは職員で素案を作成し、懇話会などとも並行して意見を反映しながら進め、最終的に実施設計の中で調整し、その後施工します。限られたスペースのうえに、県教育委員会から元の空間を残すように言われています。

今木会長 指定になれば国から補助金的なものが出るのか。

事務局 登録有形文化財は、国から設計監理費に少し補助が出ます。個人の民家などの登録にあたっては、固定資産税の非課税などの減税的な措置がありますが、これはあまり関係なく設計監理費の少しの補助と耐震補強費には国交省から補助が出ると聞いています。

藤澤副会長 現在は公民館として機能しているが集う部分はなくなるのか。

事務局 歴史文化講座などで利用できるスペースは設けていく必要はあると思いますが、一般のカルチャータク講座のスペースはなくなります。

今木会長 自主学習グループなどはどの程度利用されているのか。

長田部長 去年まで金額が非常に安かったため利用は多かったのですが、今年から料金を改定し、古い建物も新しい建物も平米あたりで計算、人件費と維持管理費に対する47%の受益者負担でと設定しなおしました。料金改定後、来年度から全額負担（減免廃止）になるため同面積・同金額のコミセンの利用に移行していただき、利用が減る予測のもとで閉館します。

西野課長 他館に比べて、特に夜間利用が多く

谷山委員 資料館の新設の問題でどういう形で進められるかよくわかったし、市民の方の意見もよく聞いて造ろうというところは大変分かるが、一方で文化財保護審議会でも検討する課題はあると私は考えるのです。新設検討していく流れと審議会との関わり、審議会は話を聞くだけになるのかその辺どのように考えておられるのか。

事務局 文化財保護審議会については条例設置の諮問機関、資料館の懇話会については要綱により設置されている諮問機関なので、協議結果は提言とし最終的にまとめ教育長に提出される。その間の会議の傍聴やホームページ等での内容の公開もします。最終の報告については、審議会で資料としてご覧いただき改めて意見をいただく予定です。懇話会の提言は、反映しながら事業推進していくつもりだが、市の財政事情等でどのようになるかわからないが、調査研究など学術的・専門的項目に対し埋蔵文化財や民俗資料、歴史史料も諸項目ごとに方針を決定していこうと思っています。

谷山委員 話し合いの場がある前提で理解しておいてよろしいか。

長田部長 当然、懇話会から意見が出る途中で、審議会で報告を会議に諮り、それらも含め市で検討し予算の絡みも調整しながら、市民の意見と審議会の意見と両方取り入れて考えていきたいと思っています。

西野課長 懇話会に学識経験者の選出を考えており、文化財保護審議会の委員さんの中からどなたか推薦していただきたいと思っています。

司 会 ほかに質問はありますか。

長田部長 今日、文化財保護審議会から懇話会の委員推薦を一人お願いして決めていただけたらありがたいと思います。どうかよろしくお願いします。

吉川委員との声あり

全 員 吉川委員を懇話会委員として決定する旨で了承

長田部長 この資料館は、市長マニフェストに入っており、本気で取り組もうとしておられる。知恵をいただきながらと考えておりますので、先生方よろしくお願いします。

(3)その他

事務局 資料の中に前回の会議録及び委員名簿を添付させていただいています。訂正点あるいは修正点はありませんか

全 員 特になし

今木会長 以上で生駒市文化財保護審議会を閉会します。

以上